

# 経済・金融 フラッシュ

## 貿易統計 17年2月～アジア向けを中心 に輸出が好調を維持

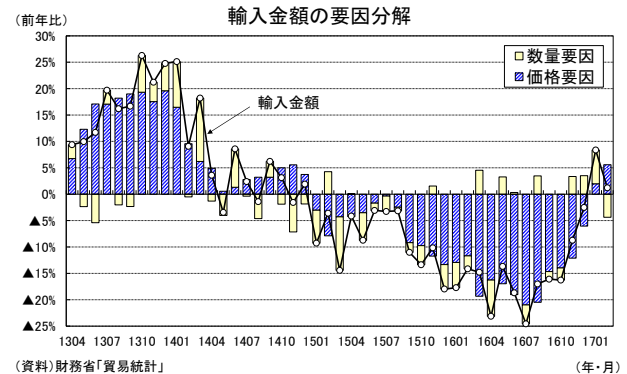
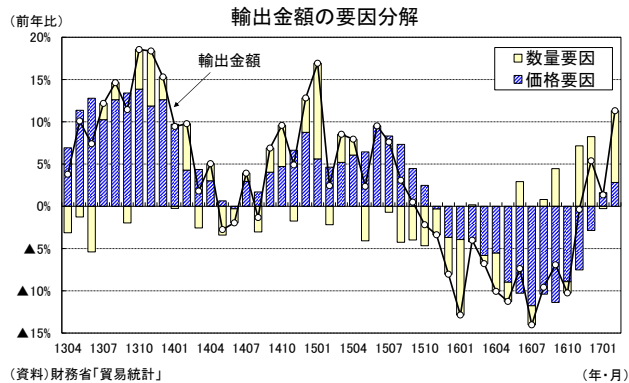
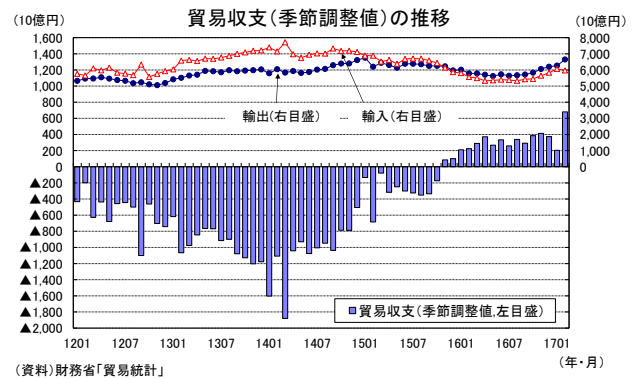
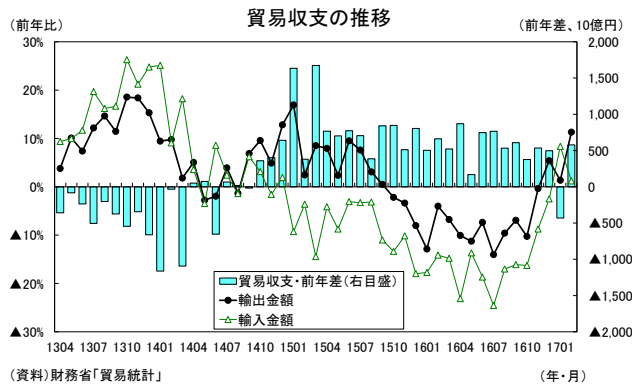
経済研究部 経済調査室長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 貿易黒字が急拡大

財務省が3月22日に公表した貿易統計によると、17年2月の貿易収支は8,134億円と2ヵ月ぶりの黒字となり、ほぼ事前の市場予想（QUICK集計：8,591億円、当社予想は6,664億円）通りの結果となった。輸出が前年比11.3%（1月：同1.3%）と前月から伸びを大きく高める一方、輸入の伸びが1月の前年比8.4%から同1.2%へと低下したため、貿易収支は前年に比べ5,779億円の大幅改善となった。

輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比8.3%（1月：同▲0.3%）、輸出価格が前年比2.8%（1月：同1.6%）、輸入の内訳は、輸入数量が前年比▲4.3%（1月：同6.3%）、輸入価格が前年比5.7%（1月：同1.9%）であった。



季節調整値の貿易収支は6,803億円の黒字となり、1月の2,040億円から黒字幅が大きく拡大し

た。輸出が前月比 6.1%（1月：同 1.1%）の高い伸びとなる一方、輸入が前月比▲1.6%（1月：同 4.1%）が6ヵ月ぶりに減少した。

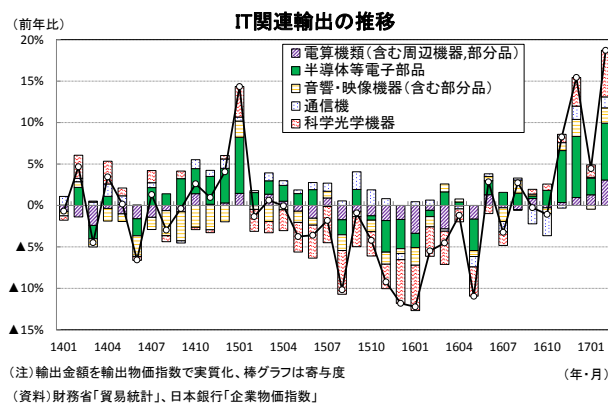
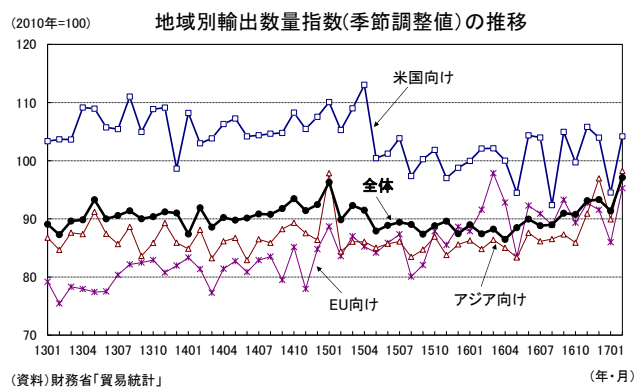
## 2. アジア向け、IT 関連輸出が好調

2月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 2.2%（1月：同▲5.1%）、EU向けが前年比 4.9%（1月：同▲2.7%）、アジア向けが前年比 16.0%（1月：同 4.2%）となった。

季節調整値（当研究所による試算値）では、米国向けが前月比 10.2%（1月：同▲9.1%）、EU向けが前月比 10.8%（1月：同▲6.1%）、アジア向けが前月比 9.3%（1月：同▲7.3%）、全体では前月比 6.3%（1月：同▲2.1%）となった。

2月は主要3地域向けの輸出がいずれも高い伸びとなったが、中華圏の春節の時期が昨年とずれていることにより、1月は弱め、2月は強めの数字となっており（当研究所の季節調整値は春節の影響が除去されていない）、基調判断をする上では1、2月を均してみる必要がある。17年1、2月の平均を16年10-12月期と比較すると、米国向けが▲3.7%、EU向けが▲0.6%低くなっているのに対し、アジア向けは3.1%高くなっており、アジア向けの好調が目立っている（輸出数量全体では1、2月平均が10-12月期を2.0%上回る）。

商品別には、16年後半の輸出を大きく押し上げた自動車、IT関連のうち、自動車は米国向け、中国向けが前年比でマイナス（台数ベース）となるなど、伸びが頭打ちとなっているが、IT関連輸出（電算機類、半導体等電子部品、音響・映像機器、通信機、科学光学機器の合計）は伸びが加速している。輸出はアジア向け、IT関連を中心に好調を維持している。



なお、2月の貿易黒字（季節調整値）は15年11月に黒字転換して以降では最高の水準となったが、春節の影響で輸出とは逆に輸入は1月が強め、2月が弱めで、黒字幅は実勢に比べて1月が過小、2月が過大となっている可能性が高い。3月は輸出の伸びが低下する一方、輸入が増加に転じることから貿易黒字の水準は16年末頃の4,000億円前後まで切り下がることが見込まれる。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。